

# 報告

## 「セーフティハウス・こども110番旗」が寄贈されました

5月29日に恵庭市建設業協会から「セーフティハウス・こども110番旗」の寄贈を受けました。

各町内会では、次代を担う子ども達の「安全で安心な街づくり」の一役を担い、通学路に掲げています。



## 5月10日 市町連町内会活動研究会が開催されました



毎年、恵庭市町内会連合会事業部会の主催により、町内会長・自治会長の活動研究の場として開催しています。

本年度は、5月30

日から全面施行される個人情報保護法について、石川弁護

士を講師に「町内会における個人情報の取り扱いについて」の講演を頂きました。

個人情報については、法の全面施行により、町内会においても適切な取り扱いについての注意が必要なことを認識することが出来ました。

また、「町内会活動のための個人情報保護の手引き」を作成し、配布しました。

## 5月10日 恵庭市理事者・各部長と町内会長・自治会長との懇談会が開催されました



毎年、恵庭市町内会連合会主催により、町内会長・自治会長と市理事者・各部長の顔合わせと、市から新年度の予算概要・事業などの説明を受け、意見交換を行っています。

本年度は、町連会長、市長の挨拶、市側出席者の紹介の

後、「未来へ羽ばたく平成29年度予算について」の説明、質疑応答の後、市より地域防災力の推進、まちづくり拠点整備事業の概要、焼却施設整備事業、エコバス車両購入、路線・ダイヤ改定、生活改善要望の実施、市民の広場、子どもの生活支援・学習支援事業、消防行政についての説明を受け、意見交換を行いました。

出席した町内会長・自治会長から、子どもの生活支援・学習支援事業、駅前の横断歩道整備などについての質疑が出される等、活発に意見交換が行われ終了しました。

### 市町連活動記録

(2017.2.1～8.31)

- 2. 8 平成29年恵庭市町内会連合会定期総会
- 3. 17 「防災ガイドブック」クリアファイルを市へ寄贈
- 5. 10 「町内会活動研究会」町内会長・自治会長他45名出席
- 5. 10 「市理事者と町内会長・自治会長懇談会」市理事者14名、町内会長・自治会長37名出席
- 5. 29 恵庭市建設業協会から「セーフティハウス・こども110番旗」の受領

- 6. 「個人情報の手引き」発刊
- 7. 10 「町内会長・自治会長親睦交流会」24名参加

#### ■役員会等の開催状況

四役会議(5回)、役員会(6回)  
事業部会(3回)、広報部会(2回)

### 編集後記

町内会の夏の諸行事が終わり、一息つく間もなく次の事業が待っている。敬老会や秋のスポーツ関連が目白押し、年間で最も忙しい時期だ。味覚の秋を確かめる行事もあるだろう。楽しみを待つ地域の人々と喜びを分かちあおう。(つ)

発行 恵庭市町内会連合会 広報部会

事務局 市民活動推進課  
恵庭市緑町2丁目2-2  
恵庭市市民活動センター  
電話/0123-34-7000

募集! 紙面で紹介したい「ユニークな活動をしている人」「がんばる人」の情報をお寄せください。



柏小学校は、4月から恵庭市教育委員会の「コミュニティ・スクール」の指定を受けました。「コミュニティ・スクール」とは、学校運営を地域の方々と一緒に考え、協働しながら子ども達の豊かな成長を支えていく仕組みのことです。

4月15日に「第1回学校運営協議会」が開催され、(1) 確かな学力プロジェクト、(2) 思いやりの心プロジェクト、(3) たくましい生活力プロジェクトの3部会構成でさまざまな事業を展開することとなりました。

(1) 「確かな学力プロジェクト」では、放課後学習会や体力テストの支援、九九や音読検定などを行います。

6月26日から28日に実施した体力テストでは、地域の方々に測定していただきましたが、地域の方々の励ましの声に子どもたちは、はりきって取り組んでいました。これから実施する放課後学習に、支援していただける方を募集しています。関心のある方は、学校(32-3579)までご連絡ください。

## 地域の子どもは地域で育てる

## 柏小学校 コミュニティ・スクール

(2) 「思いやりの心プロジェクト」では、地域ぐるみで行うあいさつ運動、教科学習等で地域の教育力をいかすふるさと教育、地域と連携した土曜授業を実施します。

2年生の「まちたんけん」や3年生の「恵庭の名人をさがそう」、5・6年生の「夢道教室」では、「ふるさと恵庭」をテーマに学校の外での活動や調べ学習、恵庭に関わりのある方々の協力を得ながら学習を進めています。

(3) 「たくましい生活力プロジェクト」では、交通安全や公園等での見守り、学校施設や花壇の環境整備、早寝早起き朝ごはんの啓発やネットモラルなどの生活習慣づくり事業を実施します。

5月29日には、地域の方々と柏小学校の保護者が協力して花壇整備や中庭の整備などを行ないました。

これらの取組を柱として地域・家庭・学校が出来ることを考えて実行していきます。

これからも「地域の子どもは地域で育てる」を合い言葉に、学校と地域が共に話し合い、地域とともに特色ある学校づくりを進めていきます。



## 恵み野 里美町内会の 夢と課題

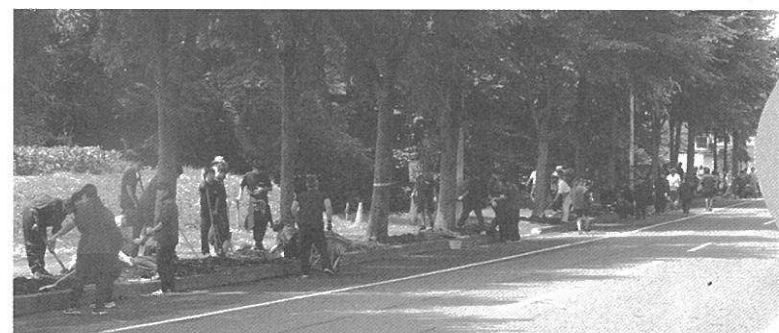


町内会設立記念行事(餅つき)の様子です

恵み野里美地区は、平成26年1月から入居が始まり約2年半で形成された住宅地です。1丁目にはサービス付高齢者住宅が在り、住宅平均年齢は70才と高く、2丁目は逆に平均年齢が25.7才と年齢の差が特徴です。また、2丁目は子どもが多く15才未満が約38%を占めています。子どもには好適な自然と親には整った住環境という中、地域が一体で見守り、子どもたちが明るく元気に巣立っていくのが夢です。自立した後、学年を超えて育んだ校友や家族との生活が、恵み野里美が故郷でよかったと語り合える未来となることを夢想しています。

一方、町内会の課題は活動の担い手です。若い人が多く、子育てや共働きで活動への参加が難しい現状です。安全安心、地域防災、子ども事業への取り組みなど、家族で参加できる催しから顔が見える関係を通じて活動に関心を持って頂ける事業を実施します。

昨年12月の町内会設立記念行事の餅つきには子どもを中心に120名を超える参加を頂き、多くの方々の協力のもと実施する事が出来ました。これを継続し、多世代の交流を深めると共に地域の絆を醸成したいと考えています。



## 柏陽中学校 土曜授業における 地域とのかかわり 「地域と共に・・・」

柏陽中学校は、開校37年目を迎えます。開校以来の伝統に「挨拶・合唱・花壇」があり、挨拶は人との信頼を作り、花壇は思いやりを育み、合唱は仲間との絆を培います。また校訓は、「創造・信愛・健康・勤労」です。学び、心を育て、体を鍛え、共に働く。この2つの精神を引継ぎ教育活動を進めています。平成26年度に国の指定を受けて土曜授業を開始したのをきっかけに「地域と共にある学校づくり」に着手し、町内会の皆さんの協力で地域の清掃活動や防災訓練、戸磯線植樹の花植など協働で作業することができるようになりました。特に戸磯線植樹の花植では、町内会の方々・保護者・小中学生・教職員の総勢400名が2500本の苗を植える作業風景は壮大であり、言葉を交わし

ながら一体となつての取り組みは昭和の時代を彷彿させる懐かしい姿がそこにあります。今年も7月22日に作業を行いました。

若草小・柏陽中校区は、平成30年度からコミュニティ・スクールを実施します。今まで以上に、地域・保護者の方々に関わりをもつていただき、地域と共に子どもたちを育て地域全体がもっともっと元気になればと願っています。



# 祭 恵庭夏まつり 祭

各町内会で様々な工夫をこらして夏祭りが開催されました



住吉(8.5)



島松東町(7.22)



しままつ鳴子まつり(8.6)



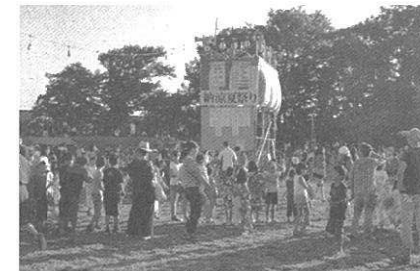
島松すずらん踊り(8.6)



恵み野西(7.1)



黄金中央(8.5)



黄金南・黄金南曙(8.6)



島松寿町(7.8)



黄金南(8.27)



恵み野北(7.8)

## おもしろ恵庭学

第9回

「胆振の国」の島松駅通所で  
別れたクラークと  
その弟子たち

文責・恵庭昭和史研究会 林 嘉男

この写真は1972年に描かれ、今も道庁の赤レンガに飾られています。札幌側の下り坂が見え、右に中山家らしき農家の建物が見えます。その建物の前に立っているのが中山久蔵さんらしき人です。この絵は全く想像で描かれ、史実とは大きく異なりますし、その後、多くの方々に、「石狩の

国」の中山駅通で別れたという誤解を与えてしまいました。当時、島松川の川を中心から札幌側を「石狩の国」と言い、恵庭側を「胆振の国」と呼んでいました。クラーク博士は当時、恵庭側にあった「胆振の国」の島松駅通所で別れました。そのことは弟子たちも、当時の北海道農学校(調所校長)の出張記録の中にある駅頭で別れたとされるされていますから、だれも否定する人はいません。駅通とは人馬の継立をするところ、馬留も休憩所もありました。ですから、駅通所で休憩し、26頭近い馬をつないだのも恵庭側にあった島松駅通所でした。

クラーク博士の伝記では、北海道の稲作を否定し、牧畜を推奨していた博士でしたから、調所校長宛に島松で休息後、恵庭市漁に立ち寄り、「ここは牧畜の好適地だ」と推奨しています。

恵庭側にあった島松駅通所の建物は昭和28年5月5日まで存在しました。

